

ジョグトリ新聞

発行責任者
(社)ジョグトリ
理事長 網本裕之

唐津城臨時案内所開設?

あんまり役には立ってない

先日の唐津ダブルフルジョグトリップでの一コマ。
唐津城の下にミニテントを張って皆さんがゴールするのを待っていたんですが、なぜか行き交う観光客から頻りに質問を受けました。

- ・呼子のイカを食べたいんですが遠いですか?
- ・唐津城の事を教えてください。
- ・唐津の名物料理は何ですか?
- 等々。

そもそも地元の人聞かないので、答えられないことばかり。「こりや来年から唐津観光協会に居てもらわないとね」と冗談めかして言うくらい。

ヘッドライトと反射材

でも、外に出てテントを眺めてみると、なるほどなにか案内所みたいに見えなくもありませんでした。
どこがそう見えるのかしら。今までどこが違うのかしら。そんな目で見てみて、自分

ヘッドライトと反射材

松浦市にも西九州道路が開通して、福岡方面からの便が良くなりました。ジョグトリップのコースと同じく山のハイウェイも当然トンネルの中を通りま

す。それにまつわるお話。
あるドライバーがこうおっしゃいました。「あそこのトンネル

なりに分かったこと。大きな横断幕の横に吊り下げている小さな(A4の)ジョグトリップ案内板。これ一つあるだけで、売店もしくは案内所に見えるみたい!

お役立ち情報は提供できなかったけど、ジョグトリップ臨時観光案内所開設の顛末でした。

は照明が明るいのでライトをつけずに運転できるのよ」
ちよつと待った! トンネルや夜道のヘッドライトはあなたが見えるためだけじゃないんだよ!
周りからあなたの車の存在が確認できるためにもあるんだよ!
特に夕暮れ時とかトンネル内は、ヘッドラ

イトつけても運転がしやすくなるわけじゃありません。
それなのにヘッドライトつける理由は、周りから見つけられやすいように。
歩行者から、対向車から、後続車から。

暗いのに明かりをつけずにいるのは「ぶつかってください」と言っているようなもの。
当たり屋なら仕方がないけど、普通の人間なら、歩行者が、対向車が、後続車がぶつかってきたら大事故になってしまいます。

もらい事故も含めて、事故してもいいことなんかひとつもありません。当たり屋を除く。(しつこい)
実はジョグトリップでの夜間走も同じことが言えます。

前面を照らすライトももちろん重要。安全にコースを走りたいからですね。
でも同じくらい大切なのが反射材。
反射材を付けても自

分の目がよく見えるようになるわけじゃありません。でも、絶対必要なんです、反射材。
その理由は、周りから存在を発見してもらうため。

都会の夜と違って、いなかの夜はホント真っ暗。そんな真っ暗な中、人が突然目の前に現れたら避けきれません。
人対人だと、ぶつかってお互い怪我をします。

ジョグトリ新聞のネタを思いつくと、 아이폰を使ってエバーノートにメモしておきます。
今日そのメモたちを見てみると「あつものに懲りてなますを吹く」と書いてました。

確か何かやったんです。「あつものに懲りてなますを吹く」ことを。しかも自分でもバ

あつものに懲りてなますを吹くとは

人対車だと、大事故で病院行きです。「私を発見できなかった自動車が悪い」と恨んでも、怪我をしたり死んだりするのはこちらの方です。
だから、反射材は必ず付けましょう。
自分のためじゃなくて、周りのために。そして、それが結果的に自分のためになるんです。

でも思い出せない。きっと面白い記事になったはずなのに、非常に残念です。
もし思い出したら、次号にでも掲載します。

教訓その1
どんなに面白いことでも、具体的にメモしとかないと全然役に立たない。